実践ソフトウェア開発科目群

授業科目名	講義内等の内容	担当教員 企業技術者による担当
実践ソフトウェア開発論 実践ソフトウェア開発演習 （全44コマ）	業務アプリケーションの開発プロセスを例題を通じて体験する。具体的には、実用規模のウェブアプリケーションソフトウェアの仕様書をUML（Unified Modeling Langurage）を用いてモデル化し、ファンクションポイント等を用いた見積もりを行う。次に、複数人のチームに分かれて実装する。実装には、Javaと現在標準的に用いられているフレームワークであるStrutsを使用する。実装したプログラムに対する品質保証活動（テスト、レビュー）も実施する。 プログラム開発時には、データ収集・分析ツールを用いて、プログラムの構成管理情報、バグ情報、メールを通じたチーム内でのコミュニケーション情報の収集を行なう。収集したデータを基に、各チームの進捗管理やバグ管理を行う。 最後に、開発したプログラムの複雑さや保守性を様々な解析ツールを用いて評価し、改善点や改良法について議論する。 以上のような、開発プロセスを通じて、実践的なソフトウェア開発・管理技術を体得する。 ●UML、Struts、Java、Webアプリケーション、進捗・品質管理、プログラム解析	（株）日立システムアンドサービス （株）オージス総研 （株）NTTデータ

＜講座スケジュール＞

実践ソフトウェア開発論/演習（44コマ）

No	日時	コマ	内容	講師
5	6・15	4	UML講義、演習	オージス総研
6	6・29	4	DM　講義	NTTデータ
7	7・13	2	DM演習	NTTデータ
		2	見積（FP法）講義、演習	日立システムアンドサービス
8	7・27	4	開発プロセス 要件定義工程・設計工程　講義、演習	NTTデータ
9	10・5	4	J2EE実践、演習	NTTデータ
10	10・12	4	Struts実践、演習	NTTデータ
11	10・26	4	開発プロセス 製造工程・試験工程　講義、演習	NTTデータ
12	11・9	4	JUnit 講義、演習 開発実践演習	NTTデータ
13	11・16	4	開発実践演習	NTTデータ
14	11・30	4	開発実践演習	NTTデータ
15	12・14	4	演習成果発表会	全員

予備日：12月21日